

令和3年度

「 兵庫県地域部活動推進事業 」
〈 中 間 報 告 〉

～令和5年度以降の休日の文化部活動の段階的な地域移行をめざして～

兵 庫 県 教 育 委 員 会

はじめに

平成31年1月に取りまとめられた中央教育審議会の答申において、部活動は「学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務」と整理され、「学校や地域住民と意識共有を図りつつ、地域で部活動に代わり得る質の高い活動の機会を確保できる十分な体制を整える取組を進め、環境を整えた上で、将来的には、部活動を学校単位から地域単位の取組にし、学校以外が担うことも積極的に進めるべきである。」ことが示されました。また、「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法の一部を改正する法律案に対する附帯決議」において「政府は、教育職員の負担軽減を実現する観点から、部活動を学校単位から地域単位の取組とし、学校以外の主体が担うことについて検討を行い、早期に実現すること。」とされています。

子ども達の文化活動に関する背景に目を向けると、①子ども達の文化芸術活動が居住地域や家庭の教育力・経済力に左右される現状(表現や鑑賞機会の格差)、②少子化に伴う部活動の廃部や部員減少、子ども達のニーズの多様化(学校内での活動機会の不足や喪失)、③部活動指導や大会引率等による教員の長時間勤務や休日出勤が常態化(学校における働き方改革の必要性)、④部活動に代わりうる継続的で質の高い文化芸術活動環境の不足(体制構築や持続可能な環境整備の必要性)など、様々な課題があります。

そこで、国は、子ども達が身近な地域で学校の文化部活動に代わりうる継続的で質の高い多様な文化芸術活動の機会を確保できるよう、学校や地域が地域の文化施設や文化芸術団体、芸術系教育機関等との連携により、文化部活動の地域移行に向けた体制構築や持続可能な文化芸術活動の環境整備を行うためのモデル事業を実施することとしました。

本県では、平成31年3月に国のガイドラインに則り、文化部活動の活動時間及び休養日の設定、その他適切な文化部活動の取組に関する「文化部活動の在り方に関する方針」を策定しました。また、生徒にとって望ましい部活動を推進するため、毎年「運動部・文化部活動状況の調査」を実施するとともに、教職員の過度の負担とならないよう、本調査を各学校において適宜有効活用するようお願いしているところです。

さらに、令和3・4年度において、国の「地域部活動推進事業」の委託を受け、令和5年度以降の休日の文化部活動の段階的な移行に向けて、研究指定校を中心に研究を進めるとともに、県が設置した「兵庫県地域部活動推進事業 専門家会議」において検証を行うこととしました。

本冊子では、令和3年度の研究指定校である淡路市立北淡中学校の実践研究をもとに、休日の文化部活動の地域移行を推進するための7つの視点に関する取組や本年度の成果及び次年度に向けた課題、生徒・保護者・教員のアンケート調査などを中間報告として掲載しています。各市町においては、本冊子を積極的に活用し、生徒にとって望ましい持続可能な部活動の実施や学校の働き方改革の実現に向けた取組の充実が図られることを期待します。

最後になりましたが、本事業の推進のためにご尽力いただいた、京都光華女子大学 西委員長を始めとする委員の皆様や淡路市教育委員会、淡路市立北淡中学校の学校関係者、地域指導者の方々に深く感謝申し上げます。

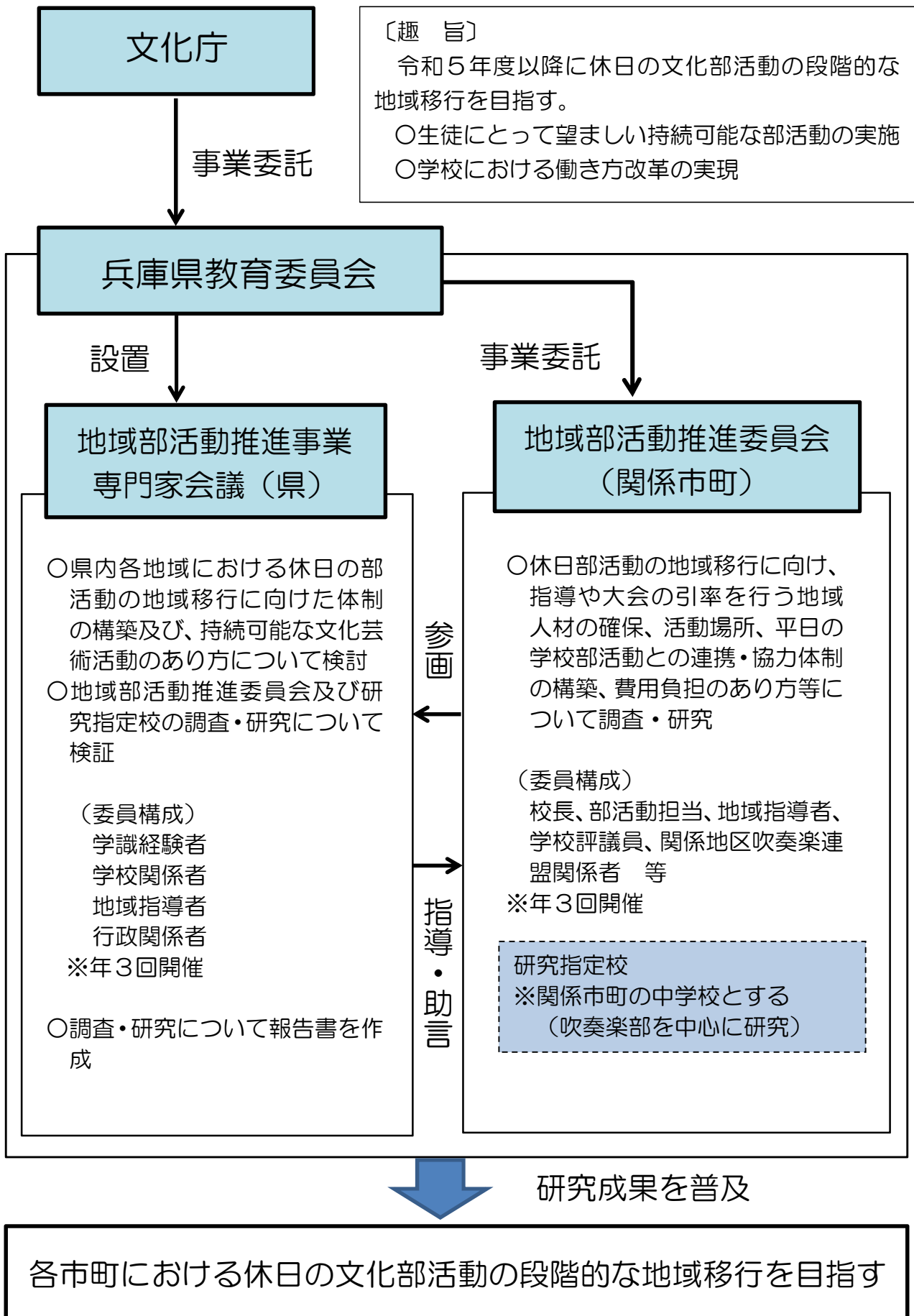
令和4(2022)年3月

兵庫県教育委員会

目次

I 兵庫県地域部活動推進事業の概要	1
II 調査・研究について	2
1 令和3年度の本県の方針について	
2 事業の流れについて	
3 休日の部活動の地域移行を推進するための7つの視点	
4 調査・研究について	
(1)視点1 教員の働き方改革	
(2)視点2 地域指導者の確保	
(3)視点3 活動場所の確保	
(4)視点4 教員(顧問)以外による大会等への引率	
(5)視点5 教員(顧問)と地域指導者等の連携	
(6)視点6 地域指導者等への研修の実施	
(7)視点7 費用負担のあり方	
III まとめ	12
○成果及び次年度に向けた課題について	
〈参考〉令和3年度地域部活動推進事業 部活動に関するアンケート(吹奏楽部)	13
○調査の概要	
・生徒質問紙の調査結果	
・保護者質問紙の調査結果	
・教員質問紙の調査結果	

I 兵庫県地域部活動（文化部）推進事業の概要【R3～R4】



II 調査・研究について

1 令和3年度の本県の方針について

- 令和3年度においては、地域の実情も踏まえ、学校が主体となり部活動を実施する中で、地域移行に向けて地域人材の効果的な活用や連携について、段階的な研究を行う。
- ※但し、地域主体で実施できるのであれば、積極的に取り入れていく。
- 文化部活動の中でも、休日に練習時間の多い吹奏楽部を中心に調査・研究を行う。

2 事業の流れについて

地域部活動推進事業 専門家会議(県)	淡路市地域部活動 推進委員会(淡路市)	淡路市立北淡中学校 吹奏楽部
第1回専門家会議(6/21) ・趣旨、取組内容の共通理解 ・課題の洗い出し	第1回推進委員会(7/20) ・研究の方向性 ・業務改善に向けて	調査・研究の実施 ・地域指導者の参加 ・活動場所の工夫 ・練習形態の工夫 ・業務改善
第2回専門家会議(11/1) ・淡路市からの中間報告、アンケート結果等 検証 ・意見交流(現状と課題)	第2回推進委員会(10/21) ・アンケートの分析 ・調査・研究の検証 ・指導者用研修資料の作成	・第1回アンケートの実施
第3回専門家会議(1/24) ・本年度のまとめ ・中間報告書の作成 ・次年度に向けて	第3回推進委員会(1/20) ・地域部活動の取組について ・アンケートについて ・業務改善に向けて	・第2回アンケートの実施
市町教育委員会への中間報告(3月)		活動の振り返り

3 休日の部活動の地域移行を推進するための7つの視点

- 視点1 教員の働き方改革(業務改善・意識改革)
- 視点2 地域指導者の確保
- 視点3 活動場所の確保(学校を開放する場合の管理、地域の施設利用等)
- 視点4 教員(顧問)以外による大会等への引率
- 視点5 教員(顧問)と地域指導者等の連携
- 視点6 地域指導者等への研修の実施
- 視点7 費用負担のあり方

4 調査・研究について

(1)視点1 教員の働き方改革(業務改善・意識改革)

【現状と課題】

- ・平日、休日と部活動に関わる教員は負担が大きい。
- ・生徒の数の減少とともに教員の数も減少しており、教員の一人あたりの校務分掌等も増えている。部活動の指導も含めると大変である。
- ・顧問が経験したことのない部活動の指導を任せられると、精神的な負担が大きい。
- ・音楽の教師が吹奏楽の顧問をしなければならないことが多い。
- ・部活動に関わりたい教員と関わるができない教員がいる。
- ・地域移行を進める場合、部活動に関わりたい教員をどうするのか。

【課題解決に向けた方策】

- ・部活動の地域移行の目的は、教員の働き方改革を実現することであるため、引き続き、調査・研究を行い、業務改善に向けて取り組むことが必要。
- ・国の動向を踏まえながら、研究指定校（淡路市立北淡中学校）や他府県の効果的な取組等について、発信していく。
- ・現段階では、休日の部活動の指導においては段階的に移行をしているが、今後、教員が休日の指導に関わりたい場合は、兼職兼業等で対応していくことが考えられる。まずは、本事業の趣旨等の周知を十分に行い、教員の意識改革を行うことが必要。

淡路市立北淡中学校(吹奏楽部)

○吹奏楽部の指導内容としては、主に右記のことが考えられる。淡路市立北淡中学校では、その一部を地域指導者に依頼している。

【地域指導者の効果】

・部活指導に関する業務の削減

→現在は、平日、休日とも、顧問と地域指導者が一緒に指導を行っているが、一定時間は業務軽減となっている。

→指導計画の立案、練習計画の作成、譜面の準備等の一部を地域指導者に任せることにより、練習時間以外に必要な業務量の軽減につながっている。

・心理的な負担の軽減

→事前の準備をお願いすることは、業務量の軽減とともに、心理的な負担の軽減につながっている。

→急な会議や生徒指導等が生じた場合でも、地域指導者に依頼することができる。

→楽器指導については、専門性(クラリネットや打楽器など)のある地域指導者もいるため、安心して任すことができる。

【吹奏楽部の指導内容】

- ・生徒の指導(楽器、パート、全体)
- ・曲決め、指導計画の立案、練習計画の作成
- ・保護者会、各種団体事務、会議への出席
- ・楽器の管理、修繕、購入計画の作成
- ・練習場所の確保、楽器の運搬
- ・大会(コンクール)への参加 等

丹波篠山市

○楽器指導専門(金管楽器や弦楽器など)の部活動指導員が複数いることで、そのパートに特化した専門的な指導・支援が可能。より多様な部活動につながるとともに、顧問が経験のない種目・楽器の技術指導は、顧問の大きな負担軽減になっている。

○会議等で顧問教員が練習に参加できない場合の指導員、推進員の指導・支援は生徒の部活動時間の確保とともに、顧問教員の業務軽減となっている。

(2)視点2 地域指導者の確保

【現状と課題】

- ・一部の楽器だけではなく、全体を指導する立場となると、指導経験が豊かで、かつ、教育的立場で指導できる人材に任せたいという思いもあるが、そのような人材を見つけるのは難しい。
- ・行き過ぎた指導や守秘義務など心配であるし、顧問との連携が欠かせないため、人材の選定はどうしても慎重になる。
- ・地域的に人材が少なく発掘が難しい。

【課題解決に向けた方策】

- ・部活動の運営方針を地域の方に伝え、目標を共有し、地域の方に理解していただいた上で関わっていただく。
 - ・平日と休日という考え方の前に、全体指導と部分指導という形に分け、全体指導は学校の教員が行い、部分指導は地域人材等を活用する。
 - ・教員養成系の大学に通っている学生等の活用。
- ※ 募集については、学校支援ボランティアという枠組みで、楽器別の指導者を募集する方法がある。

淡路市立北淡中学校(吹奏楽部)

- 3人の地域指導者を活用している(右図参照)。
 - 指導者の確保については、関係者の人間関係を通じて依頼した。
 - 淡路吹奏楽連盟と連携をしている。(情報提供)
 - 淡路市地域人材バンクの活用を検討している。
- ※募集の工夫、楽器の指導、運搬、修理等

教員 OB	教員 OB	プロ演奏家
音楽指導	音楽指導	音楽指導
指揮	専門	専門
楽器修繕	(クラリネット)	(打楽器)

○練習の様子



顧問及び吹奏楽部の指導経験のある地域指導者(教員 OB)が全体指導を担当



地域指導者(教員 OB 及びプロ演奏家)が専門的にパート練習を指導

○ICTを活用した効果的な練習方法(複数の学校による合同練習)

地域指導者が見つからない場合や指導者の都合により練習の時間帯が合わない場合などに備えて、試験的にICTを活用した合同練習に取り組んだ。
(次ページ、練習の様子)

協力校



連携

淡路市立北淡中学校



ICTを活用することで、現場に指導者がいなくても、効果的な練習が実施できた。但し、オンラインでは音声の設定等に課題がある。

明石市吹奏楽連盟

- 初心者クリニック※と冬季クリニック※を開催 ※専門家の指導による
- 対象：明石市の中学校（吹奏楽部生徒） 合同練習会
- 指導者：明石市立中学校吹奏楽部出身者、明石市内高等学校吹奏楽部出身者、中学校・高等学校教員で音楽大学器楽科を卒業されている方など
- 回数：年間に4回程度（土曜日に3時間程度）

【効果等】

- ・楽器ごとに合同練習することで、他校生徒との豊かな交流の場となっている。
- ・指導経験の少ない教員にとっては、指導方法を学ぶ貴重な機会となっている。
- ・年間の限られた活動であるため、教員の業務軽減に向けた取組という観点においては、今後の工夫などが必要。

川西市 ※吹奏楽部以外の部活動も含む

- 部活動指導員（会計年度任用職員） ※市内に11人配置
 - ・顧問と連携しながら、実技指導をはじめ、校外活動の引率も単独でできる。
- 外部コーチ ※市内に21人の配置枠
 - ・希望する学校に、1校3人までを原則に配置される。技術指導を業務とする。単独での引率等はできない。

【効果等】

- ・技術面の指導等において、教員や生徒にとって大変有益である。
- ・すべての部活動に配置される枠があるわけではなく、適切な人員が見つかるかどうか厳しい状況である。

丹波篠山市 ※吹奏楽部以外の部活動も含む

- 部活動推進員（丹波篠山市中学校部活動支援事業） ※各中学校に1人配置
- 部活動指導員（会計年度任用職員） ※市内4中学校の吹奏楽部に配置
 - ・吹奏楽部での業務は、技術指導が中心。引率業務は顧問教員が行っている。

【効果等】

- ・平日、休日の部活動支援により、教職員の負担軽減に繋がっている。

※地域指導者を確保することは大切であるが、地域の中で指導者を育成していくことも大切である。

(3)視点3 活動場所の確保(学校を開放する場合の管理、地域の施設利用等)

【現状と課題】

- ・地域性があり、地元にはホールや公民館等があるところとないところがある。また、移動する場合は、楽器の移動の問題が非常に大きい。
- ・楽器の移動がかなりの妨げになるが、小型楽器やサクソ、ホルン程度なら可能である。ただ、合奏などをするのであれば、学校を開放し、学校の楽器を使うのが現実的である。
- ・自治体によっては、市の施設を使う場合に無料で使用できるなど優遇措置もある。

【課題解決に向けた方策】

- ・公共施設の利用については、市町組合教育委員会が支援体制を検討する。
- ・学校開放が取り組みやすい。
- ・管理・安全の問題については、今後の研究の課題とする。
- ・地域指導者による、オンラインを活用した練習を取り入れることも検討する。

淡路市立北淡中学校(吹奏楽部)

○活動場所:淡路市立北淡中学校 音楽室、教室

○活動日:平日4日(2時間程度)

休日1日(3時間程度)

○指導者:吹奏楽部顧問、地域指導者3名

○鍵の管理:休日の鍵の管理は顧問が担当し、
練習は地域指導者が担当

※吹奏楽の練習には、パート練習等も行うため、
音楽室だけでなく、他の教室も必要となる。

○その他

生徒にとって望ましい持続可能な活動ができるよう、地域指導者が自ら地域バンドを立ち上げ、地域の受け皿となるよう取り組んでいる。



赤穂市ジュニアバンド

中学校の吹奏楽部と小学校の金管バンドクラブの受け皿および吹奏楽部(部活動)や金管バンドクラブのない小中学校の児童生徒の受け皿として結成。

吹奏楽部は、市内5中学校のうち2校にある。現在のところ、部活動の維持はできているが、今後の生徒の減少や指導者確保などにより学校での指導が困難と
時の受け皿として「赤穂市ジュニアバンド」を立ち上げた。

○活動場所:赤穂市立赤穂小学校 音楽室 ○活動日:毎週土曜日活動

○指導者:楽器指導を得意とする小学校教員(前金管バンド指導者)

○鍵の管理:ジュニアバンドの指導者が学校とジュニアバンド専用の警備保障の鍵を持っている。(ジュニアバンド使用の教室のみ警備保障を分けている)



川西市

○川西市では、各校土日のどちらかに代行員※を配置することができる。

小学校では土日は社会体育に施設を貸出している場合が多く、この代行員が、鍵の受け渡し等を管理している学校もある。同様に考えれば、今後地域に部活動が移行された場合、学校施設等の貸し出しはこの職員で対応できるのではないかと考えている。

※代行員…土日のどちらかに出勤し、鍵を管理し、来校者対応等に従事する人

(4)視点4 教員(顧問)以外による大会等への引率

【現状と課題】

- ・生徒の引率と楽器の運搬に要員が必要であるため、少なくとも2、3人の人員が必要になる。
- ・楽器運搬には費用が発生する。
- ・担当教員不在で、地域指導員が部員を指導して移動する場合には、事前の入念な打ち合わせが必要。
- ・生徒の健康状況や登校方法・連絡方法の把握が必要。(安全面)
- ・楽器の運搬には時間と労力がかなりかかる。

【課題解決に向けた方策】

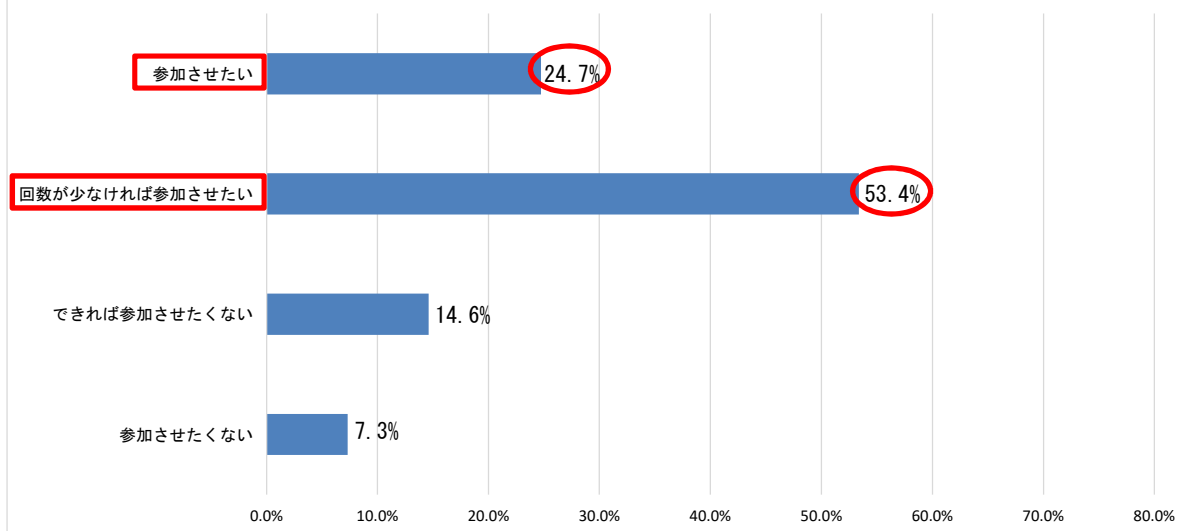
- ・指導という意味で依頼するのか、引率のみに絞るのかという考え方を整理する。
- ・運営主体となる団体は、生徒の活動中(移動も含む)に事故・怪我等が発生した場合は、責任をもって対応する必要がある。移動時も含めた補償ができるよう生徒の保険に加入する必要がある。また、指導者についても、同様に加入する必要がある。
- ・大会への引率については、指導のみを担う場合と比べて地域人材の確保が当面限定的となるため、やむを得ない場合に限り、教員が学校部活動として大会引率を行うことも考えられる。

吹奏楽部の保護者アンケート調査

※詳細は、16ページ

保護者の意識調査(対象:淡路市、川西市、明石市、豊岡市の吹奏楽部の保護者 183人)

地域指導者による指導のため、休日に学校外で練習をする場合、保護者による送迎が必要でも参加させたいですか。



- 「地域指導者による指導のため、休日に学校外で練習をする場合、保護者による送迎が必要でも参加させたいですか」の質問に対し、「参加させたい」「回数が少なければ参加させたい」と回答した割合が約8割となっている。
- 「できれば参加させたくない」「参加させたくない」と回答した割合も約2割あるため、配慮が必要である。

(5)視点5 教員(顧問)と地域指導者等の連携

【現状と課題】

- ・普段から連絡を密にし、上手く連携をとらないと、生徒指導などさまざまな問題が発生する。
- ・部活動は、人と人との関わりなので、いわゆる生徒指導面等の問題も出てくる。書面だけでは伝わりにくい部分もあるので、対面を大切にしながらの連携が必要。

【課題解決に向けた方策】

- ・メールや日誌等を用い、引継ぎをすることは可能。
※何をゴールとするかを定め、計画的に分担する。
- ・可能であれば、はじめは教員が指導する中に地域指導者が入り、一緒に指導を行う。日頃の様子を掴んでもらい、徐々に地域指導者のみに移行する。
- ・技術的な連携は可能であるが、生徒指導面の連携については配慮を要する。

淡路市立北淡中学校(吹奏楽部)

- 地域指導者との連携では、連絡シートを作成している。
＜内容＞・出席状況 ・活動状況 ・生徒指導に関わる情報等
- 紙ファイルによる活用を主としているが、ICTの活用も可能である。
- 地域指導者が、平日も顧問と一緒に指導に関わる時間があるため、連携はスムーズに行えている。

北淡中吹奏楽部 連絡シート

	活動日	月	日	担当者
出席状況 (欠席者等)	出席状況			
活動状況	本日の練習状況を楽器別(パート)、個人別等、記入。			
その他	引継ぎ事項、特記事項			

北淡中学校吹奏楽部 連絡シート



顧問と地域指導者、又は地域指導者同士が、打合せを行う。打合せ時間は限られているが、連絡シート(ファイル)を有効に活用している。

吹奏楽部指導者のアンケート調査 ※別添参照(複数回答可)

「地域指導者が単独で指導する場合、どのようなことに課題を感じますか。」

- ①「部員同士のトラブルなどがあったときの対応」…………… 81.8%
- ②「生徒が心配なことや悩みを、気軽に相談できるか」…………… 63.6%
- ②「事故やけがが起きた時の適切な対応」…………… 63.6%
- ④「内容や教え方を揃えられるか」…………… 36.4%
- ④「大会へ参加する場合の引率」…………… 36.4%

(6)視点6 地域指導者等への研修の実施

【現状と課題】

- ・教育的立場で指導できる人材が少ない。
- ・行き過ぎた指導（勝利至上主義）にならないか。
- ・適切な休養日等の設定ができるか。
- ・生徒に対する体罰・ハラスメントの不安
- ・事故等への危惧（活動場所における施設・設備の点検や活動における安全対策等）

【課題解決に向けた方策】

- ・市町組合教育委員会及び運営責任者は、指導者に従事する者に対し、指導に必要な知識及び実技の質の向上等の研修等を実施する。その際、「文化部活動の在り方に関する方針（兵庫県教育委員会 H31.3月）」及び、各市町で作成した「文化部活動ガイドライン（仮）」等を活用する。
- ・生徒の活動環境の充実の観点から、学校や地域の実態に応じて、保護者の理解と協力、民間事業者の活用、地域の関係団体との連携など、環境整備に努める。

① 指導者の育成に向けた取組

明石市吹奏連盟(再掲)

- 初心者クリニック※と冬季クリニック※を開催 ※専門家の指導による
合同練習会
- 対象：明石市の中学校（吹奏楽部生徒）
- 指導者：明石市立中学校吹奏楽部出身者、明石市内高等学校吹奏楽部出身者、
中学校・高等学校教員で音楽大学器楽科を卒業されている方など
- 回数：年間に4回程度（土曜日に3時間程度）

【効果等】

- ・指導経験の少ない教員にとっては、指導方法を学ぶ貴重な機会となっている。

淡路市立北淡中学校

- 生徒にとって望ましい持続可能な活動ができるよう、地域指導者が自ら地域バンドを立ち上げ、地域の受け皿となるよう取り組んでいる。(再掲)



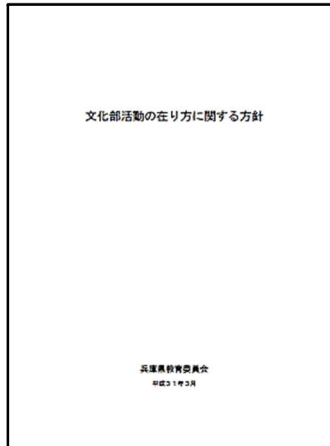
- ・地域バンドの活動をしながら、バンドの仲間に指導者としてのノウハウを伝え、協力を依頼する。
- ・地域バンドの練習に参加した生徒が、将来的には地域の指導者として活躍することを期待する。(地域の中で人材を育む)



写真：赤穂市ジュニアバンド

② 指導の充実に向けた取組

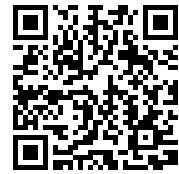
兵庫県教育委員会



「文化部活動の在り方に関する方針」(H31.3月)

文化部活動について

- I ゆとりある生活の確保
～適切な休養日等の設定、学校単位で参加する大会等の見直し～
- II 指導の充実
～合理的でかつ効率的・効果的な活動の推進のための取組～
- III 楽しく安全な文化部活動
～生徒のニーズを踏まえた環境の整備～
- IV 開かれた文化部活動
～適切な運営のための体制整備～
- V 持続可能な文化部活動において
～役割分担と抜本的改革の推進～



【兵庫県教育委員会事務局義務教育課 HP「文化部活動に関すること」】
<https://www.hyogo-c.ed.jp/~gimu-bo/11bunkabu/bunkabu.html>

<ノー部活デーの取組>

- 学期中は週当たり2日以上 of 休養日を設定する。長期休業中も学期中に準ずる。(平日及び土日等の休業日にそれぞれ1日以上 of 設定)
- 1日の活動時間は、平日2時間程度、土日等の休業日は3時間程度とする。

淡路市教育委員会

- 各校で研修用に活用できる「淡路市部活動ガイドライン」の研修用動画を作成して、各校に配信。
- 動画を使った研修と各校での対面での研修を組み合わせた研修が効果的である。(運動部活動にも適用)
- タブレット端末等を活用することで、個別研修の実施も可能。
- 内容としては、地域指導者の服務、中学校の部活動指導に求められる事項等



部活動指導者 研修用動画

(7)視点7 費用負担のあり方

【現状と課題】

- ・運営主体が市町になる場合は、予算の確保が必要となる。
- ・地域部活動を運営するために必要な費用はどれくらいかが分からない。
- ・これまでは学校部活動のため、外部指導者への謝金、施設使用料、保険料等に関する費用は必要なかったが、今後、受益者負担となる場合は、保護者や運営主体の負担が増加することが考えられる。
- ・受益者負担で実施する場合、部活動をしたい生徒ができない状況が生まれることが想定される。

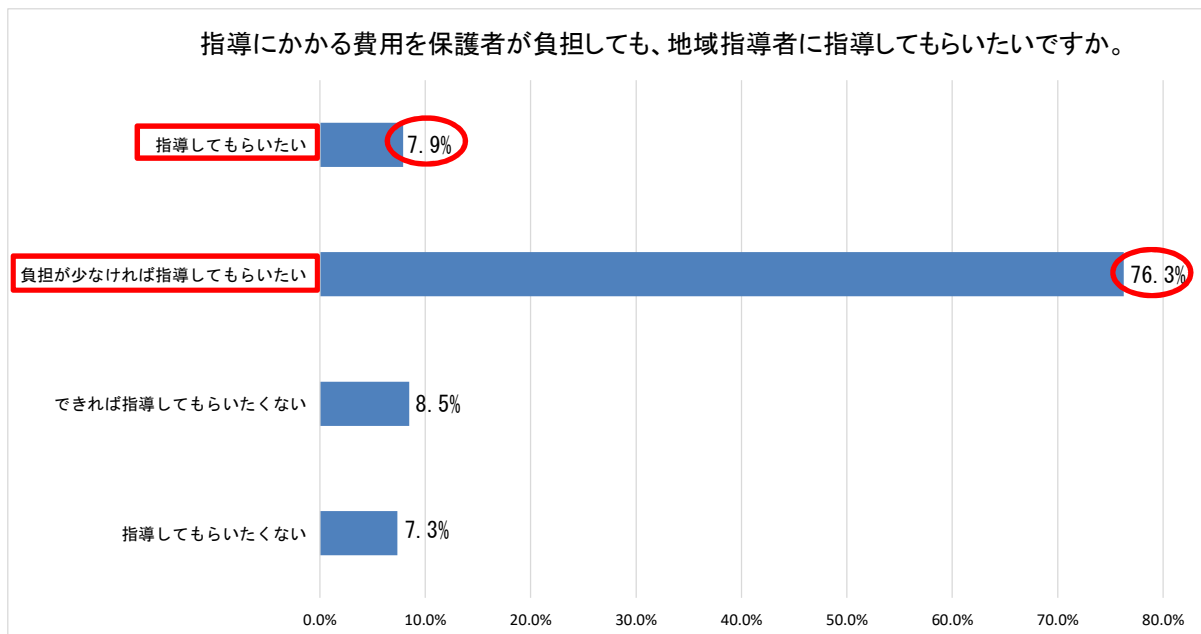
【課題解決に向けた方策】

- ・県としては、国の動向を注視しながら、補助金等を要望していく。また、市町負担も含め財源確保に努めていく必要がある。
- ・運営主体や地域の実情にもよるが、指導者・生徒・施設の保険料、施設利用料、光熱費、指導者への謝金、事務局員費、備品、その他事務に関わる費用等が考えられる。必要な費用については、検証していくことが必要である。
- ・家庭の事情等により、地域部活動に参加できない生徒への支援策を検討する。
- ・保護者や地域に対しては、地域移行の趣旨（生徒にとって望ましい持続可能な部活動の実施等）を丁寧に説明していく必要がある。また、部活動に対する意識を変えていく必要がある。

吹奏楽部保護者のアンケート調査

※詳細は、16ページ

保護者の意識調査（対象：淡路市、川西市、明石市、豊岡市の吹奏楽部の保護者 183人）



○「指導にかかる費用を保護者が負担しても地域指導者に指導してもらいたいですか」の質問に対し、「指導してもらいたい」「負担が少なければ指導してもらいたい」と回答した割合が8割を超えている。

○一方、「できれば指導してもらいたくない」「指導してもらいたくない」と回答した保護者もいるので、地域移行を行う場合には丁寧な説明が必要である。

Ⅲ まとめ

○成果及び次年度に向けた課題について

文化部活動の地域移行に向けて、研究指定校の淡路市立北淡中学校及び淡路市を中心に調査・研究に取り組んできたが、これまで学校で実施していた部活動をいきなり地域に移行するには、検討すべき課題が山積している。

そのために、本県では専門家会議の中で、7つの視点〔①教員の働き方改革（業務改善・意識改革）、②地域指導者の確保、③活動場所の確保、④教員（顧問）以外による大会等への引率、⑤教員（顧問）と地域指導者等の連携、⑥地域指導者等への研修の実施、⑦費用負担のあり方〕に分けて課題を整理し、検証を行ってきた。

学校や地域の実情に応じて異なることもあるが、視点を分けて調査・研究を進めることにより、解決の糸口が見えてきたものもある。

まずは、①これまでの取組を生かすことである。

（例1）地域指導者の確保

市町教育委員会、学校の人材バンクの活用や、部活動指導員を有効活用する。

（例2）活動場所の確保

学校施設を開放する場合は、代行員や地域ボランティアの方に、鍵の管理等を依頼する。

つぎに、②全体指導と部分指導に分けることである。

（例）吹奏楽部の練習形態

全体指導は教員（顧問）が実施し、部分（パート）指導は、地域指導者に依頼する。部分（パート）指導であれば、1つの楽器の経験があれば指導できるため、人材も確保しやすい。

また、今年度においては、休日の指導を完全に地域移行するには至っていないが、淡路市立北淡中学校の報告では、地域指導者が指導に関わることで、一定時間は業務軽減となっている。また、何よりも楽譜の作成や楽器の修繕など、練習時間外にかかる負担軽減が報告されている。また、丹波篠山市の報告からも、平日に会議等で顧問が練習に参加できない場合でも、地域指導者が指導に関わることで、心理的負担の軽減に繋がっている。

次年度に向けては、国の動向を踏まえながら、より一層の推進が求められる。これから取り組んで行くべき課題として、

- ①都市部や地方部など地域の実情に応じた幅広い具体例の提示
- ②各市町及び各学校への地域移行に関する周知（研究指定校の成果と課題）
- ③保護者や地域の理解を得るための周知の工夫（受益者負担等も含む）
- ④人材の確保・育成のための人材バンクや指導者ネットワークの構築
- ⑤吹奏楽連盟等との連携を図りつつ、大会（コンクール）参加等への検証
- ⑥国の動向を踏まえた上での予算確保に向けた準備（県及び各市町）

など、まだまだ取り組むべきことはたくさんある。

地域部活動への移行は、まさに社会に開かれた教育課程をどう実現していくのかということにつながっていく。なぜ、地域に移行するのかという目的の部分、学校や市町教育委員会だけでなく、地域と共有しながら取り組んで行くことが求められている。

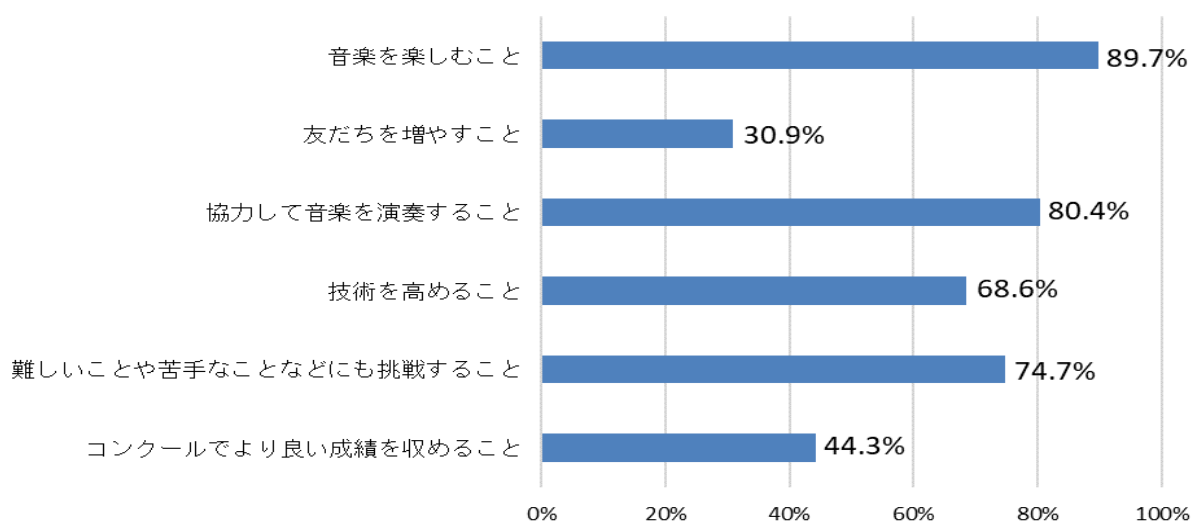
<参考> 令和3年度地域部活動推進事業
部活動に関するアンケート（吹奏楽部）

- 1 調査実施期間 令和3年8月～12月
2 調査対象 淡路市立津名中学校、東浦中学校、北淡中学校、一宮中学校
川西市立清和台中学校、明石市立高丘中学校、豊岡市立豊岡北中学校

対象	回答数
生徒	194
保護者	183
顧問	11

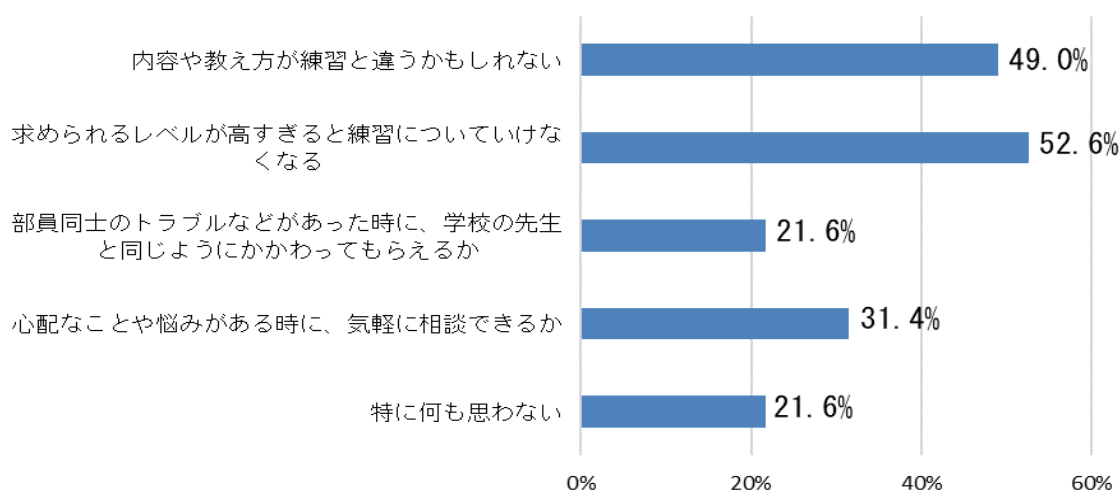
3 生徒アンケート（回答数 194人）

問1 （生徒）部活動で大切にしていることは何ですか。



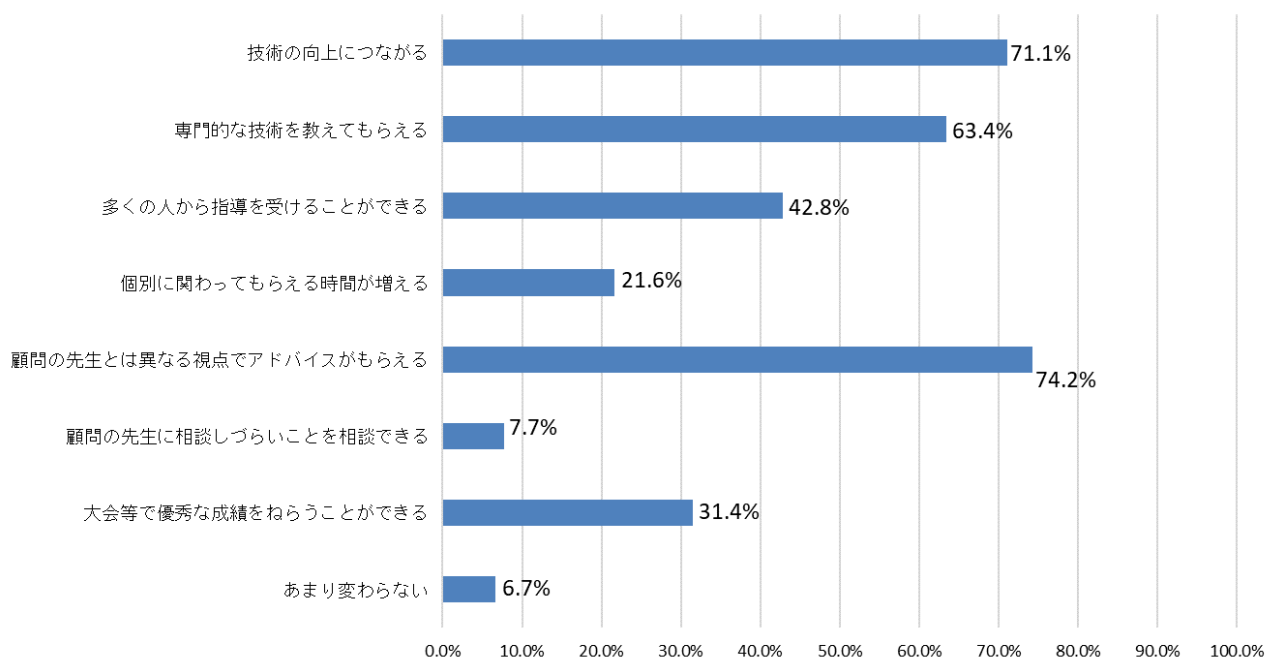
- ・「音楽を楽しむこと」、「協力して音楽を演奏すること」を大切にしている回答が多い。
- ・「難しいことや苦手なことなどにも挑戦すること」を大切にしている回答も7割を超えている。

問2 （生徒）部活動の指導者が、学校の先生ではなく、地域指導者から教えてもらう場合、どのようなことに不安を感じますか。



- ・4割から5割の生徒が地域指導者に「求められるレベル」や「内容や教え方」に不安を持っている。

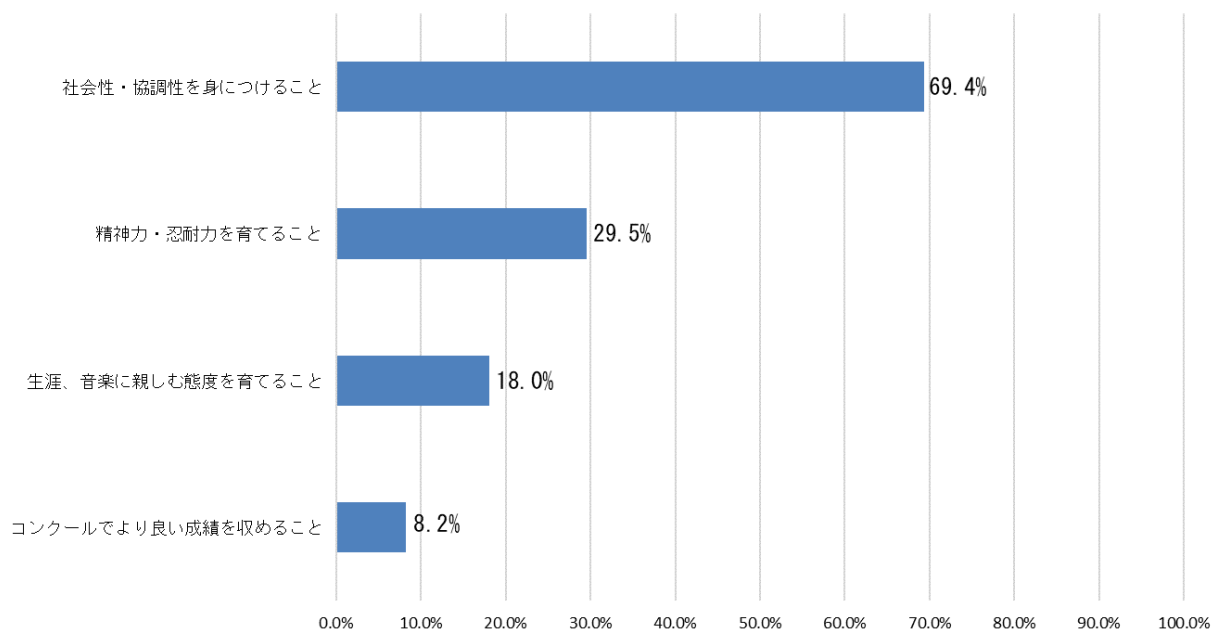
問3 (生徒) 地域指導者に指導してもらうことで、どのような楽しみがありますか。



・「技術の向上」、「専門的技術」、「異なる視点でのアドバイス」をもらえるなど、技術を高める指導について、6割～7割の生徒が期待をしている。

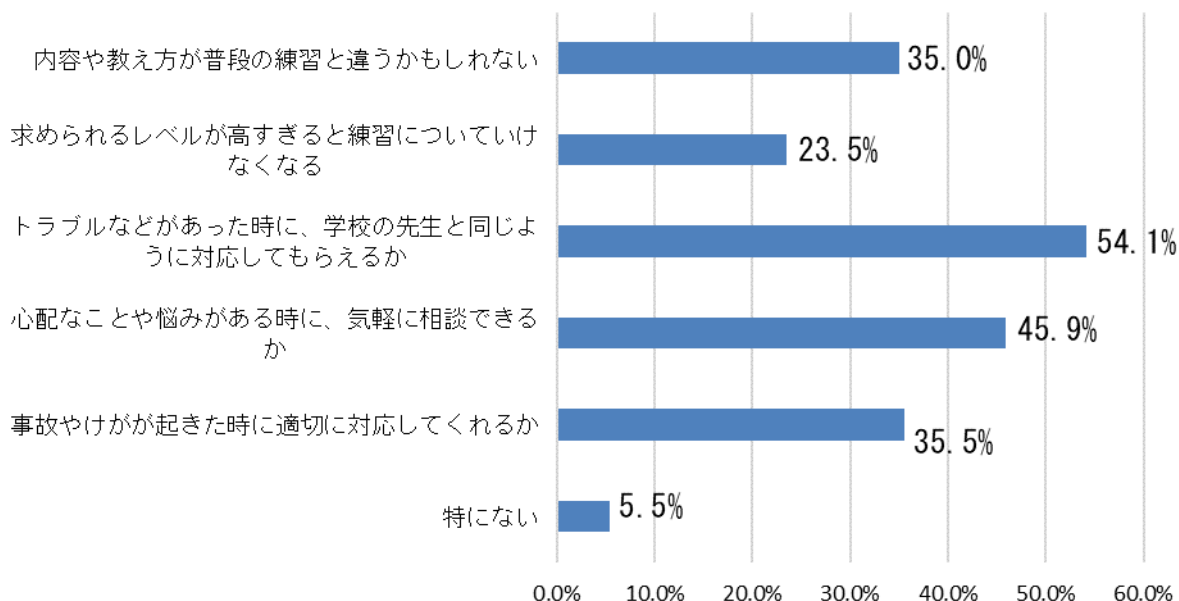
4 保護者アンケート (回答数 183人)

問1 (保護者) 部活動で、期待していることは何ですか。



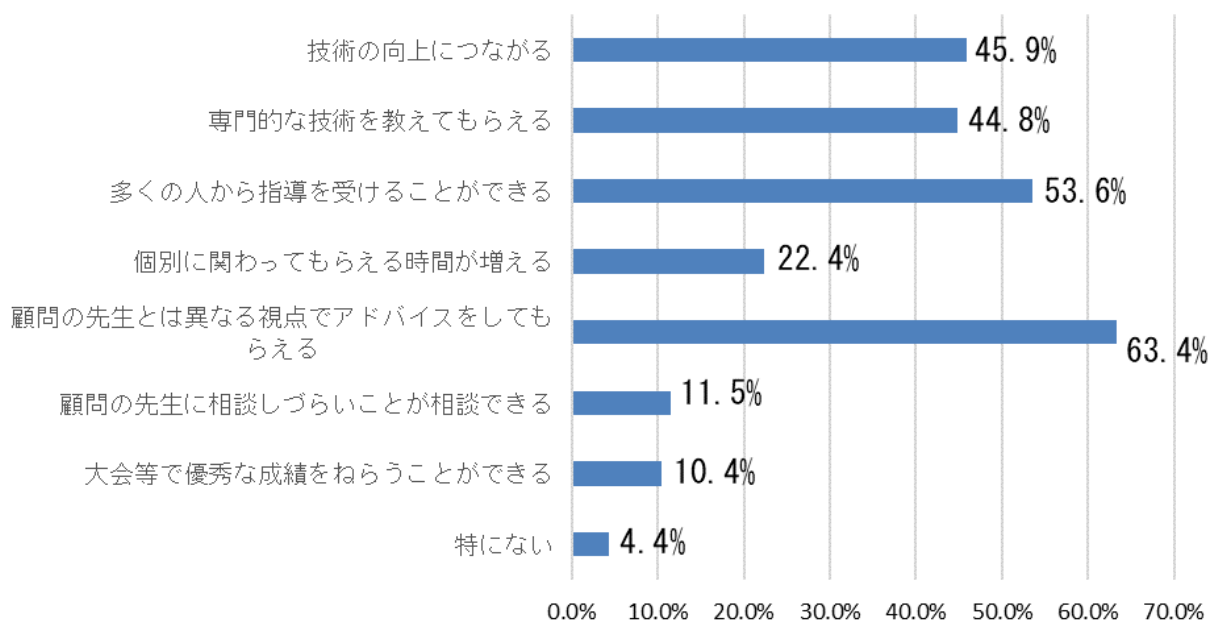
・「社会性・協調性を身につけること」を7割近くの保護者が期待している一方、「コンクールでより良い成績を収める」ことを望む保護者は1割未満となっている。

問2 (保護者) 地域指導者が単独で指導する場合、どのようなことに不安を感じますか。



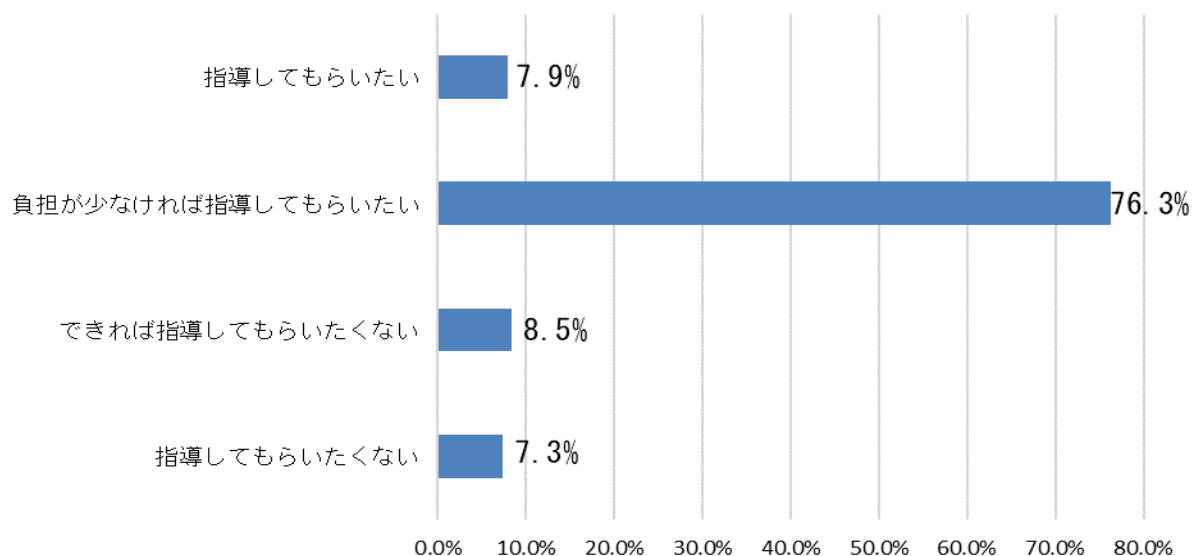
・「トラブルなどがあった時」の対応や「心配なことや悩みがある時に、気軽に相談できるか」について、5割程度の保護者が不安を感じている。
 ・「事故やけがが起きた時」への対応については、3割程度の保護者が不安を感じている。

問3 (保護者) 地域指導者に指導してもらうことで、どのような効果があると思いますか。



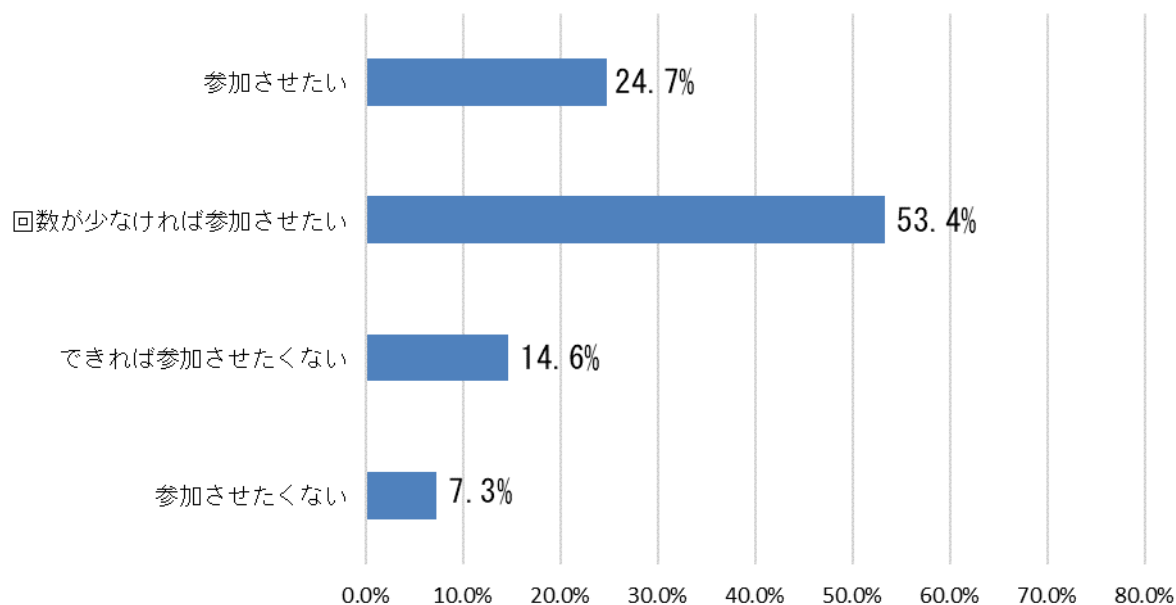
・「顧問の先生とは異なる視点でのアドバイス」「多くの人から指導を受けることができる」が約5割～6割で多くなっている。
 ・「技術の向上」や「専門的な技術指導を教えてもらえる」ことを期待する保護者が約4.5割程度いる。

問4 (保護者) 指導にかかる費用を保護者が負担しても、地域指導者に指導してもらいたいですか。



・「指導してもらいたい」、「負担が少なければ指導してもらいたい」と回答した保護者が約8割以上となっている。

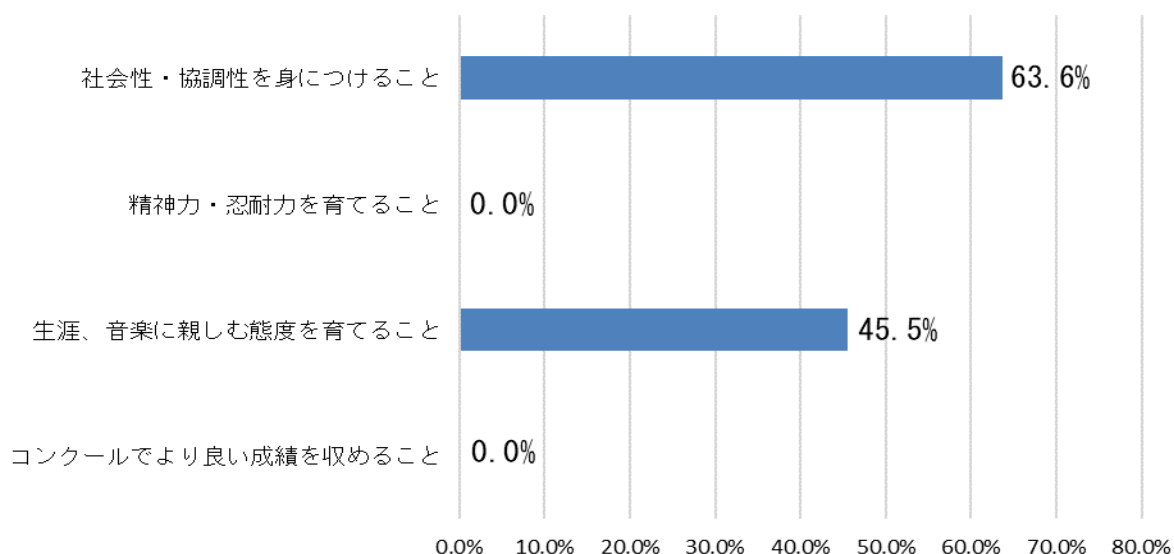
問5 (保護者) 地域指導者による指導のため、休日に学校外で練習をする場合、保護者による送迎が必要でも参加させたいですか。



・「参加させたい」、「回数が少なければ参加させたい」と回答した保護者が約8割となっている。

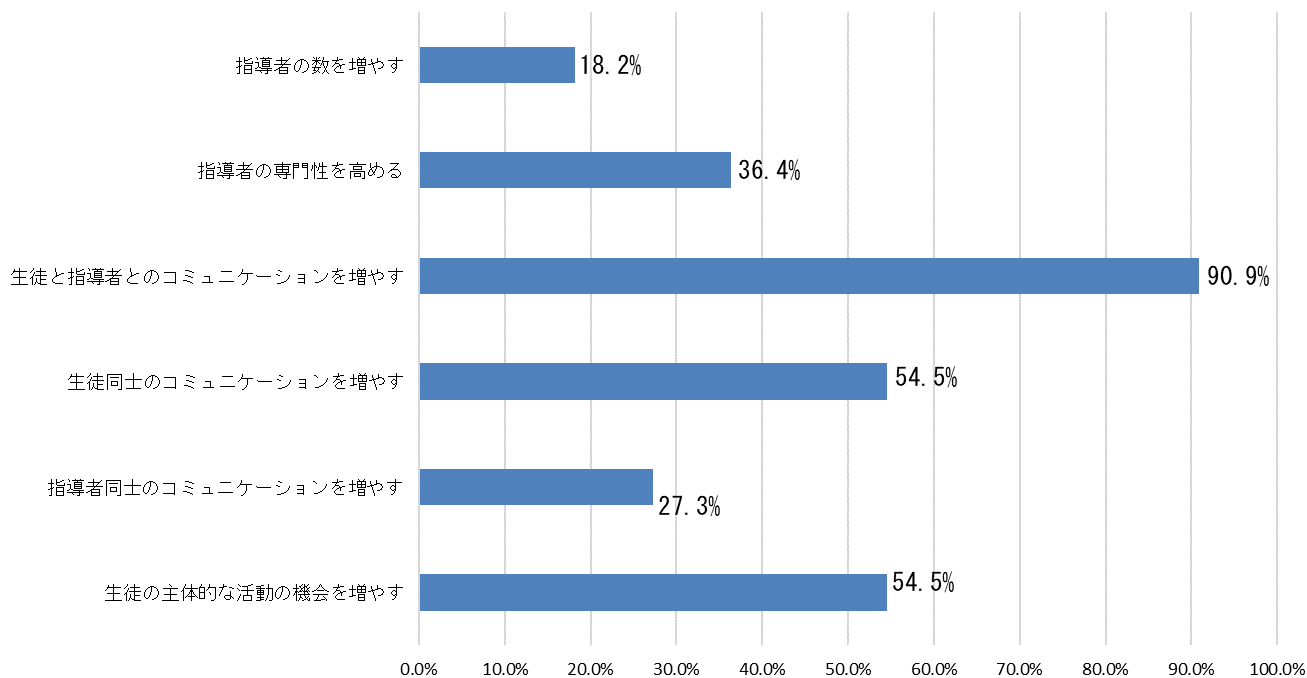
5 教員アンケート（回答数 11人）

問1 （教員）担当している部活動で、重視していることは何ですか。



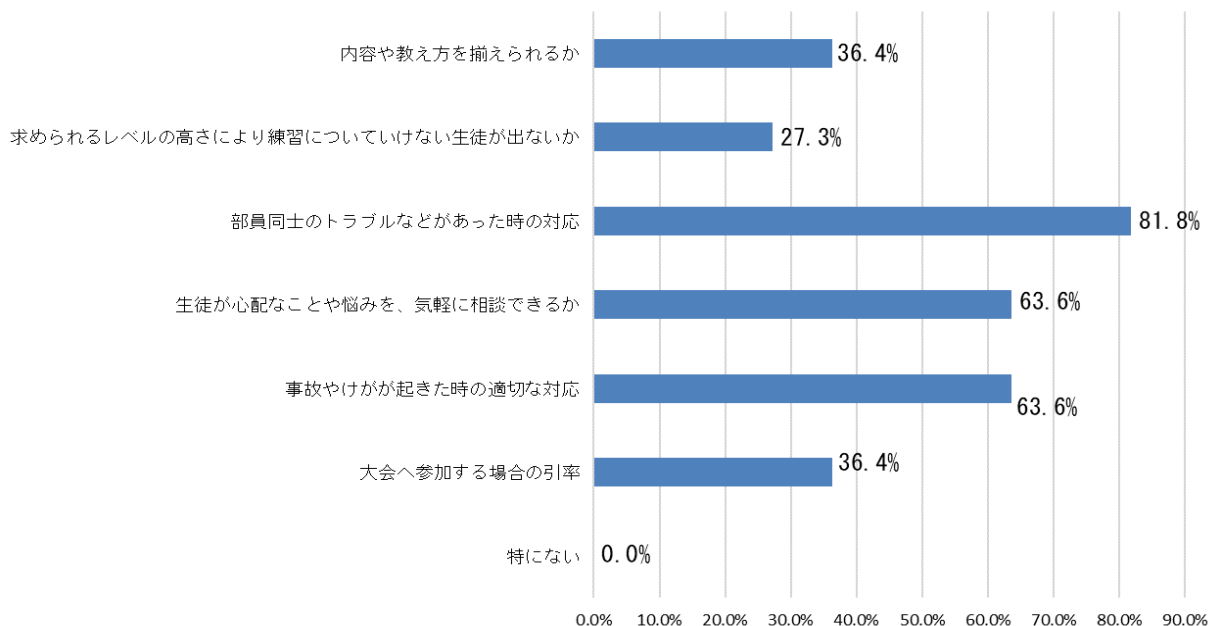
・「社会性・協調性を身につけること」を6割近くの教員が期待している一方、「コンクールでより良い成績を収める」ことを望む教員はいない結果となっている。

問2 （教員）最も重視していることをさらに伸ばすために、どのようなことが必要だと思いますか。



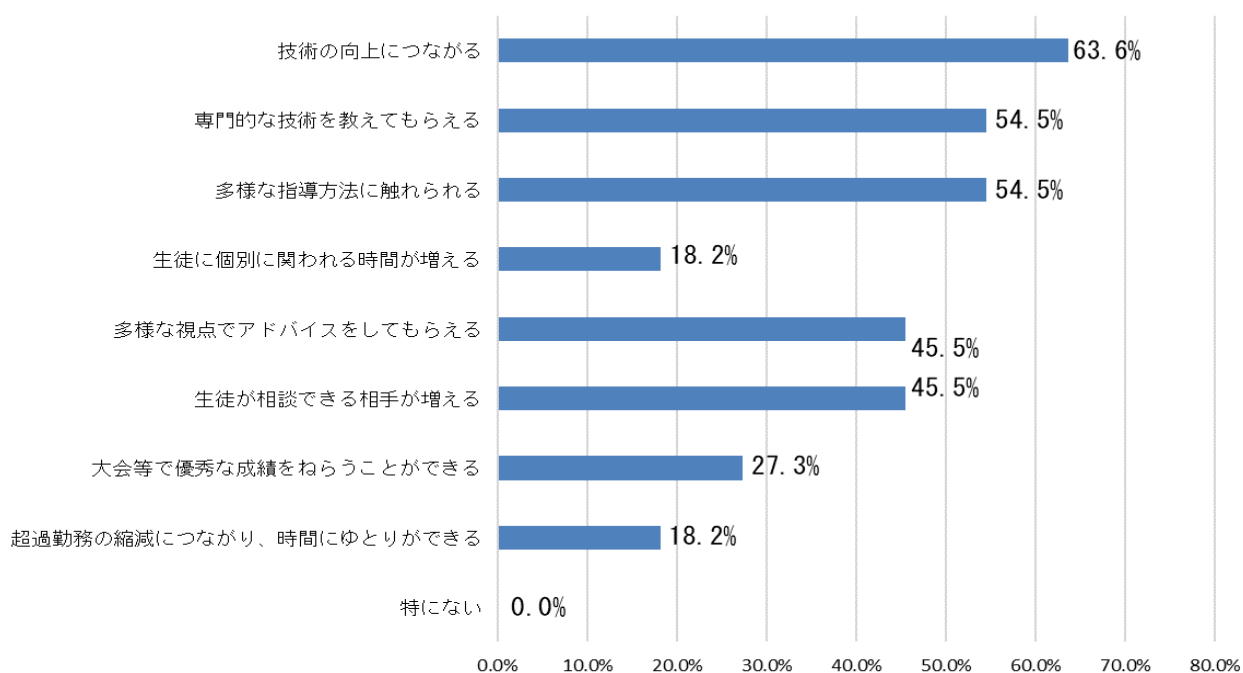
・「生徒と指導者のコミュニケーションを増やす」を重視している教員が9割に上っている。
 ・「生徒同士のコミュニケーションを増やす」、「生徒の主体的な活動の機会を増やす」という回答が5割程度となっており、生徒の自主性を重んじていることが分かる。

問3 (教員) 地域指導者が単独で指導する場合、どのようなことに課題を感じますか。



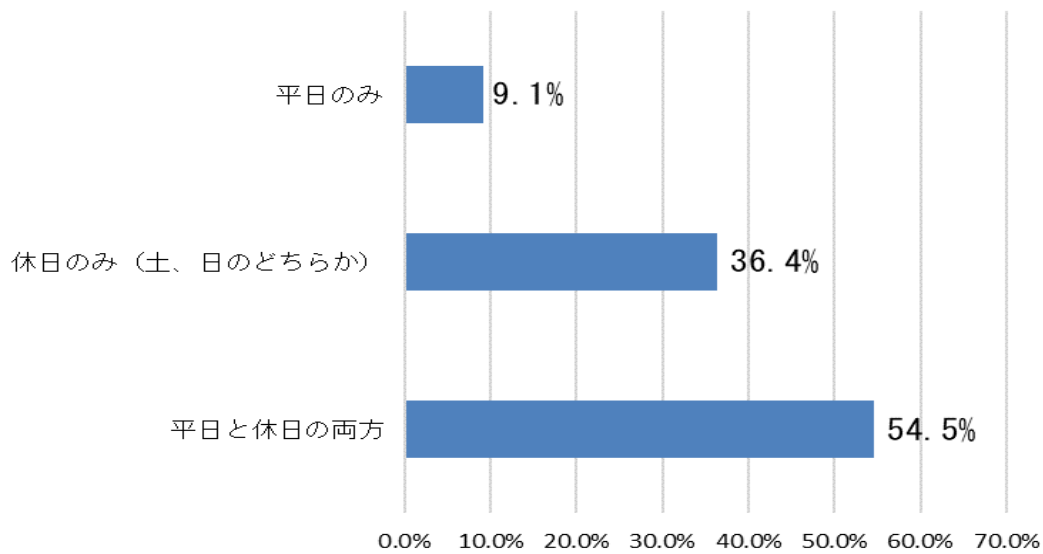
- ・「部員同士のトラブルなどがあった時の対応」が約8割と最も多く、「生徒の悩み相談」「事故やけがが起きた時の対応」が約6割となっており、生徒指導、危機管理を課題に感じている。

問4 (教員) 地域指導者に指導してもらうことで、どのような効果があると思いますか。



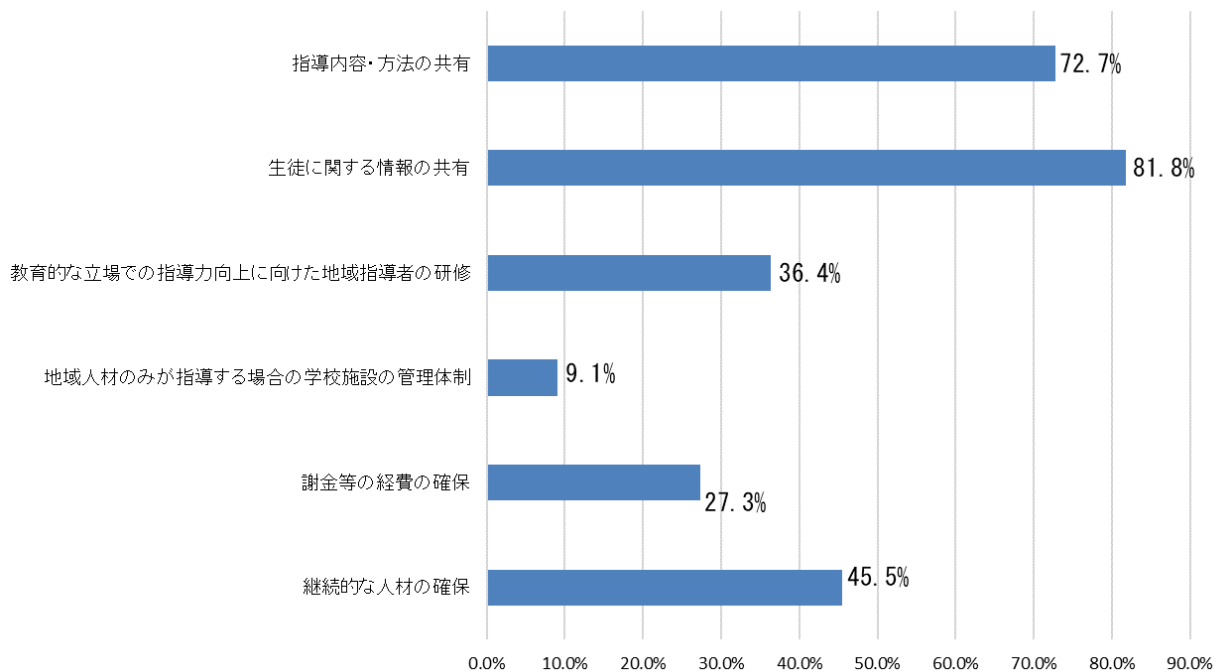
- ・「技術の向上につながる」効果があると回答した教員が約6割と最多となっている。
- ・「専門的な技術を教えてもらえる」「多様な指導方法に触れられる」の効果も約5割程度の教員が期待している。

問5 (教員) 地域指導者には、いつ指導をしてもらいたいですか。



・「平日と休日の両方」を希望する教員が5割を超えている。

問6 (教員) 地域指導者と連携した体制を持続させるために、どのようなことが必要だと思いますか。



・「生徒に関する情報の共有」が8割、「指導内容・方法の共有」が約7割を占め、生徒の地域指導者との連携が必要だと考えている教員が多い。

部活動の地域移行に向けたアンケート項目

項目	生徒	保護者	教員
○部活動で、大切にしていることは何ですか。(生徒) ・音楽を楽しむ ・友達を増やす ・協力して音楽を演奏する ・技術を高める ・難しいことや苦手なことなどにも挑戦する ・コンクールでより良い成績を収める ・その他	○		
○(担当している)部活動で、重視(期待している)していることは何ですか。(教員・保護者) ・社会性・協調性を身につける ・精神力・忍耐力を育てる ・生涯、音楽に親しむ態度を育てる ・コンクールでより良い成績を収める ・その他		○	○
○最も重視していることをさらに伸ばすために、どのようなことが必要だと思いますか。 ・指導者の数を増やす ・指導者の専門性を高める ・生徒と指導者とのコミュニケーションを増やす ・生徒同士のコミュニケーションを増やす ・指導者同士のコミュニケーションを増やす ・主体的な活動の機会を増やす ・その他			○
○地域指導者に教えてもらう場合、どのようなことに不安(教員の場合は「課題」)を感じますか。 ・内容や教え方が練習と違うかもしれない ・求められるレベルが高すぎると練習についていけなくなる ・部員同士のけんかなどがあった時に、学校の先生と同じようにかかわってもらえるか ・悩みが相談できるか ・事故やけがが起きた時の対応(保護者、教員のみ) ・大会へ参加する場合の引率(教員のみ) ・その他 ・特にない	○	○	○
○地域指導者に指導してもらうことで、どのような楽しみ(効果)がありますか。 ・技術の向上につながる ・専門的な技術を教えてもらえる ・多くの人から指導を受けることができる ・個別に関わってもらえる時間が増える ・顧問の先生とは異なる視点でアドバイスがもらえる ・顧問の先生に相談しづらいことを相談できる ・大会等で優秀な成績をねらうことができる ・超過勤務の縮減に繋がり、時間のゆとりができる(教員のみ) ・あまり変わらない(生徒のみ) ・その他 ・特にない	○	○	○
○指導にかかる費用を保護者が負担しても、地域指導者に指導してもらいたいですか。(4件法)		○	
○地域指導者による指導のため、休日に学校外で練習をする場合、保護者による送迎が必要でも参加させたいですか。(4件法)		○	
○地域指導者には、いつ指導をしてもらいたいですか。 ・平日のみ ・休日のみ(土、日のどちらか) ・平日と休日の両方			○
○地域指導者と連携した体制を持続させるために、どのようなことが必要だと思いますか。 ・指導内容・方法の共有 ・生徒に関する情報の共有 ・教育的な立場での指導力向上に向けた地域指導者の研修 ・地域人材のみが指導する場合の学校施設の管理体制 ・謝金等の経費 ・継続的な人材の確保 ・その他			○

令和3年度 兵庫県地域部活動推進事業 専門家会議委員

●学識経験者	委員長	西 孝一郎	京都光華女子大学	准教授
	副委員長	三浦 克哉	兵庫県吹奏楽連盟	理事長
		谷 哲一	兵庫教育文化研究所	事務局員
●学校関係者		大西 ゆかり	川西市立清和台中学校	校長
		西岡 正雄	淡路市立北淡中学校	校長
		宮崎 康德	明石市立朝霧中学校	教諭
		小池 正浩	明石市立高丘中学校	教諭
		吉谷 直己	豊岡市立豊岡北中学校	教諭
●地域部活動指導者		泉 良融	淡路市立北淡中学校	地域指導者
●行政関係者		入潮 賢和	赤穂市教育委員会	教育次長
		岸田 幸雄	丹波篠山市教育委員会	学校教育課長

「兵庫県地域部活動推進事業」〈中間報告〉

令和4（2022）年3月

編集発行 兵庫県教育委員会

〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1

TEL 078-341-7711（代）